☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

丹波新聞　平成３０年３月１８日（日）

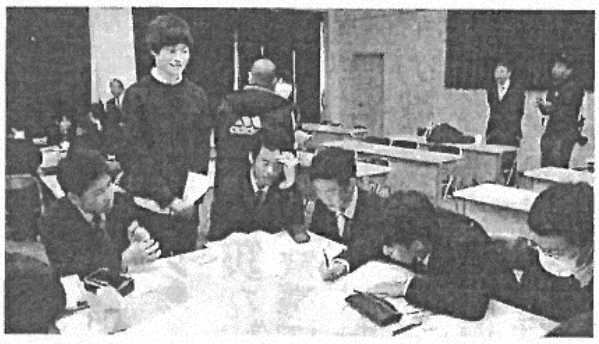
「桃太郎」題材に交渉術を学ぶ

氷上西高

氷上西高校（高橋信之校長）でこのほど、周囲と信頼関係を築くのに役立つ「交渉術」を身に付ける授業が行われた。昔話「桃太郎」を題材にした授業で、自分と周囲にとって最善の解決策を導けるように対話を重ねる体験をした＝写真。

関西大学の山本敏幸教授を講師に、1年生40人が取り組んだ。桃太郎と犬、キジ、サルの4班に分かれ、それぞれのプロフィールをもとに、鬼退治に行く理由を考えた。その上で、桃太郎であれば「刀を持っている」「まだ若く経験が浅い」など強みと弱みを出し合い、それらが鬼退治にどう影響するのかを検討した。

その後、各グループから1人ずつ集まってチームを作り、4人ともが納得する結論に落ち着くよう話し合った。「鬼と戦わず、話し合いで解決しよう」「鬼の退治に加え、宝も取り戻そう」などと意見を出したが、4人ともが満足する結論に至ったチームは少なく、交渉の難しさを感じていた。



山本教授は「人生でも似たようなことは起きる。憎しみや、相手を負かすことだけを考えるのではなく、めざすところはウィンウィンの関係」と語りかけた。生徒の赤木昂雅（こうが）君は「一人ひとり意見が違い、交渉は難しかった」と話していた。